国分寺市国際協会 協会活動活性化へ向けた会員対象アンケート 結果報告

2021年11月

<調査の目的>

国分寺市国際協会(以下「国際協会」という)現会員の考えとニーズを把握し、会員が活躍できる場所を作り出すとともに、今後、新規会員募集のおりのアプローチの仕方を考える上で参考にする。

<調査期間>

2021年10月26日~11月19日

<対象>

国分寺市国際協会会員

<調查方法>

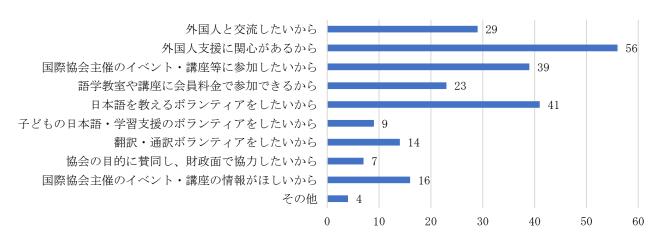
メール登録会員:Google フォームを利用

メール登録していない会員:地球家族にアンケート用紙を同封。郵送、FAX、事務局へ持参の いずれかの方法で回答

<回答者数>

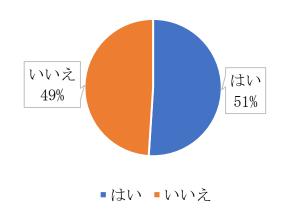
98 名

1. あなたが国際協会へ入会した目的は何ですか? (複数回答可)



その他…地元に貢献したい。地元の国際化、中国理解の促進等(1)/生活している地域に貢献 したいから(1)/ 合唱団に入ったので(2)

2. あなたは現在部会に所属していますか?



3. 上記2の質問で「はい」と答えた方

3-1. 現在、部会に所属する会員が減少しています。なぜ減少しているのか、あなたが感じる要因がありましたら、ご記入ください。

①立ち上げた頃の方々の高齢化 ②定年が延長され、70 歳まで働く方が増加 ③男女ともに定年まで働く時代に④ 兄弟姉妹が少なくなり、介護を担っている人の増加(超高齢化により 70 代での介護も多い)⑤ボランティアの負担が 大きい→仕事をするほうがよいと考える

部会の具体的活動がわからない

広報不足?年齢(高齢)偏重

在留外国人への支援(有形無形のサービス)提供

←色々な企画が考えられますが、イベントありきの前に、理念・ビジョンの再確認と共有化促進か、必要かもしれません。(因みに、小生は申し訳なくも、まるで認知しておりません。)

部会に所属すると役割分担等の負担が増えるから。

活動仲間との交流が一切ない。

部会のメンバーのジェンダー意識が強く、ちょっと苦しい。

活動が保守的、融通が利かないと思います。もちろん過去の歴史は大事ですが、新しいことを始める、新しい意見を聞き入れる、などの雰囲気が感じにくいです。むしろ、慣例に従って、、、という行動が多く、それ以外は「新しい意見でいい!」といわれながらも、実は排除される、と感じることが多かったし、「だからやめた、だから入らない」という話も聞きます。ボランティアでありながら、強制の重みを感じることも多いです。

コロナの影響もありましたが、敷居が高く感じる。

想像の範囲ですが、昔からいる人たちが同じ活動を続けていると、新しい人が入りにくいのかもしれません。最近は 女性や高齢者の方も仕事を持つようになったので、みなさん忙しいのかもしれません。

何らかの責任を負うことを負担に感じるから。

会議、資料作成、予算管理、等の事務作業に時間を取られるから。

会員の老齢化、活動内容が自分の意図と違うなど。

高齢化(億劫になった)。余分な職務や責務を負いたくない。単純なボランティア活動以外の会議などに時間をとられてしまう。ボランティア(自発的活動)であるにも関わらず、半ば強制させられる(圧力を感じる)。一度部会に所属すると、部会から抜けられなくなる。一度部会に所属し、途中で辞めてしまうと、協会そのものがいづらくなる気がする(ので躊躇する)等

活動内容が一般の市民に十分に伝わっていない。

入会にあたり会費が必要であることに対する理解不足。

市の関与が十分でない(政策として国際交流にさほど重点が置かれていない)。

商工会など中小の民間企業からのサポートが得られていない。

(以上は推測です)

例えば仕事をしながらの参加であると、時間的、行動範囲的に制限がある。何かの役に立ちたいと思って参加する のだが、重すぎると引いてしまうと思う。

会員の高齢化。ボランティア活動を気軽にできる雰囲気が欠けている。

入り方がわからないのではないかと思います。

興味のあるイベントに参加したいという軽い動機で加入した人にとっては、部会に所属して企画運営する活動に時間や労力を取られるのは避けたいというのが正直な気持ちかと思います。なお日本語教室部会については、参加したいと考える人たちに明確な動機があり、養成講座といった勧誘の場もあるので、他の部会と比べて所属会員の減少という問題は抱えていないと思います。

部会の活動内容に興味がない(実際活動する中身があまりない場合が多い)のでは

①コロナがまだ終息していない。②高齢になり、定期的な活動が難しい③同居の家族が高齢化、または同居はしていないが、孫の世話などを頼まれることが多く、定期的な活動が難しい。④まだまだ世話が必要な子供がいる、受験生がいる、定期的な活動が難しい。⑤働いている、他の団体のボラをやっている為、定期的な活動が難しい

高齢化や、コロナの影響

私は日本語教室に参加したくて入会したのですが、他の部会のことはあまり知りませんでした。各部会の活動案内が十分周知されていないのかな、という気がします。

国際協会の部会などに参加しなくても別の形で(例えばオンラインなどで)他の人とつながる場が増えて多様化きたことも一因ではないか。

何をやっているかがよくわからない。

私自身が他市からの参加で、年齢的にも足の具合が悪くなり動けない時期も何度かあり、最近では所属していても 良いのかと感じる様になりました。

新型コロナの感染防止のために、イベントなど人的交流活動をしたくてもできない状況にあり、更に、今後回復するかどうかという見通しもはっきりしない為、と思います。

部会の活動状況やメンバーのかかわり方、負担等が外部からは必ずしも明らかでないためではないでしょうか。高 齢化も大きいとは思います。

イベントなどに参加は希望するものの自ら「ボランティア活動」に取組む気がない方が多いから。

国際協会が広く認知されていないことが原因ではないかと思います。広報の仕方に工夫が必要の様に思います。

ボランティア活動に興味が持てない方も多いと感じます。

また寄付としてお金は出すけれども、活動まではしたくないという声もあります。

告知自体がメジャーじゃない。メリットが感じられにくい。

他市からの参加で、年齢的なものと足の具合悪くなったりで、気持ちはあっても参加出来ない事多くなりました。

高齢でやめる会員がある事と、ゆとりがないため新たに会員になる人がいないのではないでしょうか。

仕事が忙しくなったりすると参加できない。コロナで人と接したくなかった。

部会を開催する時間が平日の午前中なので、一般職の方が参加することが難しい。

より多くの会員を、特に組織の若返りを図るのであれば土日もしくは平日夜少し遅めの時間帯で行うことも検討する 必要はあると思います。

また部会の存在も SNS などを通してもう少し多方面に発信する必要があると考えます。

働いていて平日の日中に活動出来ない人が参加しにくいからでは?また、組織のメンバーは、引退した年配の方々が多いという印象があり、若者が参加しにくいのかも知れない。

会員の加齢が進んだ。若手新人の加入がない。

大変素晴らしい活動を展開されていて今後も協会のイベント・講座についての情報を知りたく、また日本語教育の学びの場としても参加したく思っておりましたが、我が家からは少し協会への距離がありますのと、私自身の家族・ケガの後の復調に時間を要しており参加できないでいます。一旦退会させていただき、復調しましたら再入会との方法も考えています。

中国語講座にて学ばせて頂いていました。まず国に対して余り興味を持つ方が少ない。たとえば英語でしたら万国 共通的に旅行その他で役立つ事も多いのですが。減少というより元々参加人数が少ないのは仕方がないのかなぁと 思いますが、あって大変よいと思っています。

3-2. 新規会員、現在部会に所属していない方が積極的に活動に参加しやすい仕組みづくりのため、改善案がありましたらご記入ください

①ボランティアの負担を少なくする ②今まであったからということで継続させるのには

無理があると思う 本当に必要とされているのか 他の国際協会と重複していないかなど

議論されるべきと思う

部会を超えて、ボランティアができるしくみづくり

上記の通り、同組織(メンバー)のニーズとシーズ、またその可能性・方向性が、小生には不明の為、回答困難。

部会の役回りの負担を少なくする(集まりを減らす、部会を減らす等)。ボランティアを気軽にできる場に。

英語や中国語講座だけでなくスペイン語やポルトガル語講座も開催できないか検討してほしい。

部会、という存在がよくわかりません。何をやりたいのか、やろうとしているのか、どうかかわったらいいのか。。。

積極的に宣伝する。

参加者が少ない部会は無理に存続させずになくすという選択肢も考えてみる。役員は任期を設けて同じ人が続かないようにする。

それぞれの会員が入会した時の入会目的をきちんと把握する。その上で、部会に参加しても大きな負担とならないようにそれぞれの部会で対処する。

事務作業を極力 simple にし、事務局で大半を処理できる仕組みが必要。

色々なツールを使って部会活動の内容と意義を PR する。

部会の目的・意義を明確にする。部会としての活動内容及び参加する個人がやること(職務規定)を明確にする。フルタイム参加、パートタイム参加、スポット参加など、参加・関与の仕方を多様にする。何らかのインセンティブ、有形無形の報償を設定する。

広報活動をより多面的に行う(内容、手段、頻度・タイミングを再検討)。

東経大の学生の勧誘(学生部会、青年部会等として活動を奨励)。

市に国際協力課(仮称)を設ける(現在の名称「人権平和課」が適当でないということではありませんが何をやるのかをより明確にするため)→市の関与の範囲を明確にする。

市民が参加しやすいイベント(マーケット、祭など)の開催(→会員募集にも活用)。

仕事をしながら、家庭を守りながら、介護をしながらでも参加できるくらいの活動にする為の見直しをしたらどうでしょうか。

ボランティア活動のトライアルの機会をたくさん作る。

入会と同時に部会にも所属するようにしたらいいのではないかと思います。

例えば、①部会の活動をもっと知ってもらう取り組み(イベントの頻度を増やす・目につく場所で開催する・SNS 等で広く広報する)、②積極的なリクルート(何度もイベント参加している方に部会参加の声掛け)、③イベント準備活動へのお手伝い参加募集(部会メンバーとして参加している感覚よりも軽い形で手助けして貰いながら雰囲気を感じてもらう場を作る)、など

- KIAに入会する際、他の部会、あるいはKIA全体の活動を知るため複数の部会に入るよう勧めては?
- ・KIAの中心的意義が外国人支援、又は外国人との交流ならKIA自身が国分寺近辺に住むあるいは勲無する外国 人を把握し、彼らが何を求めているか調べるとおのずからKIAの活動が盛んになるのでは?

既存会員向け①定期的な活動が難しくても、参加 OK と、積極的に伝える。②部会がどのような活動をしているかわからない。積極的に広報。メールや SNS 中心で。動画も交える。印刷物での広報は固くなりがちなので避ける。

③30年記念ということで、会員全員のこれまでの活動、海外や外国との接点、得意なことなど、メールや SNS で紹介する。印刷物は時間がかかり、固くなりがちなので避ける。もちろん、名前や簡単な紹介でも OK。名前も明かしたくない会員はその意思を尊重する。④既に部会に属している会員は、新しく部会に属したいと会員がいた場合は、心広く受け入れる。やりたいことを積極的に伺い、決して否定せず、部会の活性化に生かす。⑤入会しても、思っていたと違うと、退会する会員がいる。原因をさぐることが必要。退会した会員が、日本にいる外国人の気持ちに近いほど、思っていたのと違う感じているはず。外国人の支援といいながらも、会員の方々の上から目線、自分自身の海外経験を引けらかす、様々な支援体制、場所は作っても、外に対する視線ばかりを気にして、日本にいる外国人の本当の気持ちに寄り添っていない。と、感じて退会などを考えるのでは。新規会員向け、①から④までを、新規会員向けに変更して広報。しかし、コロナが終息するまで、新規会員獲得は難しいと思われる。

勉強会や、実際に体験して頂く

外国籍の会員がどれくらい参加しているかわかりませんが、外国人の会員も一緒に参加・貢献出来る仕組みがあったら良いように思います。

ユーチューブや zoom などで活動を中継してみる。もっと具体的に見える化したい。

英語学習の授業のケースでは、単に教室におけるレッスンだけでなく、食事会や各種パーティ、カラオケ屋さんで英語の歌を歌うなど、ネイティブ・スピーカーとの private な交流なども加えると、部会の雰囲気も盛り上がると思います。

必ずしも活動を前提としない、準会員的な仕組みがあると、例えば引越しした方にも引き続きサポートしてもらえると思います。

活動参加を継続的に粘り強く訴えていくことの他には妙案はありません。

みんなで会う機会を増やすこと。

コロナ禍で難しいとは思いますが、KIA 主催の外国人の方を交えての楽しいイベント作りをして頂けたら、新規会員を増やせるのではないでしょうか。一つの案ですが、、、、、

現在の活動には時間と手間がかかることが多いのです。

やりがいはあるのですが、手間が削減されるようになることも大事です。

LINE ルームなど時間や場所に制約を受けない環境での、情報共有もあると良いと思います。ただし、一定のルールは必要だとは思いますが。

講座・イベントをする際に、会員募集のアピールをしていく

もっと広報活動をした方がいいと思う。例えば今の会員に定期的にメールする。LINE 登録して週 1 くらいで情報を流す。会員紹介制度を作る。部会はちょっと閉鎖的な感じ。もっと若い人にも、働いてて参加できなくなった人にも情報だけは提供し続けるようにするとか。

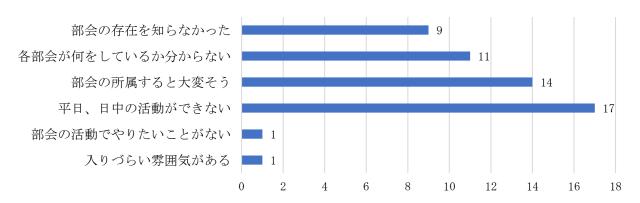
上記と被りますが部会活動の時間帯を改善するべきだと思います

オンラインや SNS などの IT の活用などで、若者の参加を促す。または逆に IT の活用ができる組織にするために、 そのような知識のある人たちを積極的に勧誘する。IT が苦手な年配の方々は頑張って知識を身に付ける。

とくに案はありませんが個人的に体調回復に時間を要していること、遠方であることが参加できていない要因です。 外部講師による日本語教育の学びには参加したことがありますが、日本語教育の部会には昼夜とも一度も参加して いないので所属部会なしの立場かもしれません

国際協会という国際と名前が付くので分かりやすいのですが、語学が堪能の方が入る会なのかしらと敷居が高いと思っていました。されている事とおもいますが、市報にも沢山載せてありましたら良いかもしれませんね。私も市報で語学講座の事を知りました

- 4. 上記2の質問で「いいえ」と答えた方。
 - 4-1. あなたが部会に所属していない理由を教えてください



その他…

交通が不便(1)/新型コロナ(4)/他団体での活動が忙しく余裕がない(1)/日本語教室所属 当初は無職だったが就職し時間の余裕がない(1)/現在85歳の年齢的なことも考えて(1)/今 週入会したばかりで活動概要を知らないため(1)/入会時は非常に多忙だったため、当分積極的 な活動は出来そうもない旨お知らせしたところ、その後特に連絡もなく、そのままになっていた (1)/土曜日の活動が多い。土曜日は終日仕事のため参加できない(1)/定期的な活動時間がと れない(1)

4-2. 国際協会のどのような点を改善すれば、活動に参加しやすくなると思いますか?ご 意見がありましたら、ご記入ください

お知らせの充実

各部会の顔が見える情報を、出来る範囲で会員がネットを通じて共有できるように工夫する

コロナでまだ活動に参加したことがないのでわかりません。すみません。

各部会でどのような活動をしているのかを会員に知らせる、部会の見学(お試し参加)の機会を設けるなどできるのではないでしょうか。

特に改善すべきことがない。いつも親切にご指導していただいている。

部会が何をやれるのか知りたいです。

部会の運営方法としては、やりたいこと(企画)を年初に募り、決定し、企画に合わせて必要な人数を集めてはどうか と思う。

企画にどの程度人が集められるかも事前に調査するのも良いと思います。人気のないイベントはやらないことも可能になります。

部会のメンバーが、常に全てのイベントに関わるのではなく、毎回メンバー構成をしていくのが参加しやすいと思います。

事務局主導の体制には限界がある一方で、ボランティアが全て担えるほど、皆さん時間がない方も多いと思います。

各部会を活性化するのには、事務局に部会専門のスタッフを雇うのがよいと思います。いわゆるコーディネーター。 週に1日でも良いと思います。全ての部会の活動を把握する方がいれば、より活性化すると思います。

懇親会など会員同士が知り合う機会が増えてること、対面での会話を増やす機会が増えること。コロナ禍から段階的に活動を平常に戻してほしい。

仕事をしながらでも参加できる曜日や時間帯にミーティングなどを設定する、あるいは有償ボランティアとすれば、参加者も増えるかと思います。

参加しやすいイベントやお知らせの送付等

①協会の活動継続のため、若い世代の会員増強化を図ってほしい。②部会の特定者の負担軽減のため、部会員数の増加が肝要と思う。

活動内容の具体的な紹介

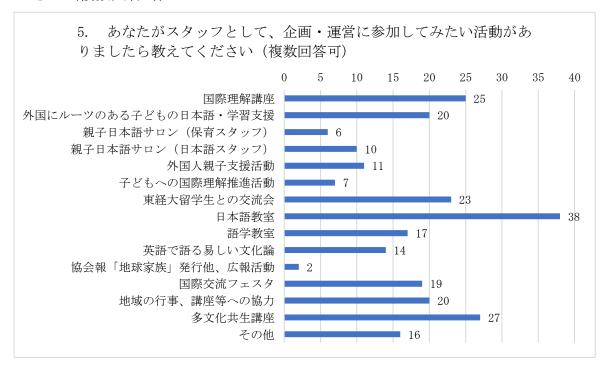
各部会の説明会、報告会を開催してはどうでしょうか。

ほとんどの活動が平日の日中、ということですと、平日にフルタイム勤務をしている年代には参加できず、何かしたく てもできないでいる人は結構いるのではないかと思います。

定期的なニューカマーミーティングも開催(2-3回/年?)

現在、育児支援をしているため時間に余裕がありません。すみません。

5. あなたがスタッフとして、企画・運営に参加してみたい活動がありましたら教えてくだ さい(複数回答可)



その他

・特にありません(4) / 世界の音楽を知る講座(1) / 仕事をしている間は難しい。時間ができたら参加したい(1) / 難聴で現在は無理(1) / 国分寺の外国人の生活に慣れる支援(1)

時間等の制約はあるが、役に立てれば何でも(1)/日本の歴史、文化を大人の外国人へ伝える活動(1)/外国人が日本社会で生活する上で何が必要か一緒に考える機会(1)/今以上の参加は時間的に難しい(1)/現在、参加する余裕がない(1)/中国関係のイベント企画、運営(1)/現在活動に参加しているため、他には難しい(1)/現在多忙のため参加できない(1)

6. こんな活動があればスタッフとして参加してみたい、今後こんな活動が国際協会として必要ではないか、などのご意見・アイディアがありましたら、ご記入ください

音楽関係の取り組み

ハングル語講座

アウトドアツアーイベント?

年齢的な問題と難聴のために現在は特にない。

・地域の外国人の生活支援(不利益を受けていること、法律的なことなど幅広く)

相談窓口。外国人が相談できる日を月に1日もうけては。相談内容をその後市役所に送る、中継所になる。

在国分寺の外国人の方の生活に慣れる支援

日本語教室に来る外国籍の人同士がつながれるといいと思います。同じ教室にいるのに互いに名前もよく知らないのではないかと思います。日本語教室に来る人はコンピュータが得意な人が多いので、日本人スタッフがコンピュータやスマホの使い方を教えてもらってはどうでしょうか。

国際協会が外国人から受ける相談をベースに地域外国人のニーズを把握し、それに対応する活動を企画する。

日本の歴史や文化を大人の外国人に伝え、交流できる活動。ウェルカムサロンの発展版。

大学で行っている講義(国際ビジネス論ー貿易、国際物流、文化論、時事放談)など皆さんに関心ある話題を話す機会があれば良いかと思っています。

外国のいろいろな料理の教室

若い人が中心になって企画する事業。

他の国際協会、NPO、奉仕団体との交流、情報交換

会員の外国人の大人や子供が気軽に時間を過ごせる常設の場所(サロン?・カフェ?)みたいなものがあったら気軽に悩みも相談できたり、何か課題がその中から見つかるのかも、と思います。まずは当事者である外国人に「こんな活動をやってほしい」というニーズ調査をしてみたらどうでしょうか。

上にも記しましたようにまず我々の周りに住む外国人の実態を把握し、本当に支援、あるいは交流が必要なのか調査をする必要があると思います。そののち具体的な活動を考えます。

音楽など、言語を超えての交流

皆で一緒に身体を動かすプログラム(運動会とかヨガとか?)があってもいいかなと思います。

各種の活動に単発的になるべく参加するように心掛けてはいるが、スタッフとして企画・運営に参加となると時間の 余裕がないのが実情です。

・世界の音楽を楽しむ学習会や実演 ・世界のジェンダーの取り組み

これ以上、活動を広げるのは人員面からも無理かと推察します。

国際交流フェスタになると思いますが、色々な国のブースを作って、母国語で歌を歌ってもらったり、お国自慢の料理 や手作りの物を売ったりなど。

小学生の英語学習サポートなどはどうでしょうか。単に英語を一から学習するというより、英語を使って何かを学ぶ、あるいは遊ぶ、街案内や海外の学校との交流等、生活英語のお手伝い機会があれば参加したいです。

外国の方を国分寺市内その他をガイドする。外国語と日本語で

親子のおしゃべりサロン

☆防災・健康・通院など 場面タスクによる会話練習のできるような単発の教室☆各国お料レシピ紹介など

外国人との市内ウオークツアーで一緒に歩きながら商店街など探索したりして交流する。

現在英語講座を受講していますが、仕事や介護、共働きの子供の家庭協力などで時間がありません。余裕ができま したら考えてみたいと思います。

各部会の連携やイベント開催時の支援・PR 支援を行うチーム

若者に向けた取り組み。日本語学校や大学の国際化と連携した活動を通して、若者会員の獲得。

日本語教室や外国語教室のオンライン化

活動費分を稼げるようなオンラインセミナー

7. 国際協会の運営や活動について、あるいは協会の活性化について、ご意見がありましたら、ご記入ください

生活に関わる事業の大切さは理解できます。外国の方々の会員の意向も聞きながら事業を実施できると良い。

現在来日している外国人の方が何を求めているのか、10年 20年前と変化しているように

思います。他の国際協会と同じことをやる必要があるのか、他の国際協会の現状はどうなのか・・いろいろ考えることがあるように思います。

国分寺市の隣接自治体の国際交流協会などの中間支援組織との情報共有や共同事業の拡充。

気楽には参加できないようなイメージがあります。

いつもご活躍していることを地球家族などでみている。

部会などとても古い仕組みは、現状に合わないと思います。全ての業務を洗い出して、取捨選択してはいかがでしょうか?

若い人のリクルート、若い人の興味のあるイベントの開催、そうすれば世代交代を少しずつして行けるのでは?高齢の方々の活発なのはとても心強いしいいことだと思いますが、国際協会の先を考えると、世代交代していかないと長続きしません。

外国籍の人にこの会を宣伝してもらってはどうでしょうか。ホームページやフェイスブックで自分の母語でこの会について紹介してもらうなど。

地域で何らか国際交流の取り組みで支援することが出来ればと考えています。時間や能力の制約ありますが、機会 あれば何らかさせて下さい。

協会員の高齢化が国際協会の活動の低下につながっていると想像される。近隣大学の学生(東経大、一橋大、津田 塾大)などをさらに活動に巻き込むことを核にして、国際協会の活性化を図ったらいかが。

部会は異文化交流、外国児童支援、語学の3つで良い。且つ、組織や予算運用を簡素化。

総会が形式的過ぎる。時間を増やして幹部と会員、会員の間で意見交換できる場を設ける。

広報活動をもう少し活発にするのも一案と思います。

東京経済大学との連携を拡大・深化させ、学生の参加を促進・拡大する。

正会員に加え準会員制度も設け、大きなイベントの当日だけのお手伝いなど、「会員になるのは気が重いが、何か関わって、やれることをしたい」層の発掘を行う。

市役所と連携し、市内の小中学校を通じて(年に一度)KIA 紹介チラシを配布。児童・生徒のルートを活用し、保護者への情報発信を行う。

国分寺市の立ち位置があいまいな感じがする。KIA は任意団体であるが、現在中心的に行っている教育支援活動は市の行政を補完するところが多く、外国人市民が増加していることを考えるとさらに積極的な関与が必要だと思う。KIA の今後の活動内容にもよるが、市(行政)/市民/企業・商店/大学・学校の連携をさらに深めていかなければならないと思う。

市内在住外国人の活躍・活動を積極的に PR

部会の枠を狭めた方がいいと思います。部会の中で、やりたい、できる活動とやりたくない、できない活動が混在しているので、できる活動だけできれば、と思います。

兎にも角にも「国分寺市」の理解と主体的関与が必要。正攻法でダメなら、①国際課題好きで有力な市議会議員さんを抱き込むとか、②市内在住の外国人の方を焚きつけて市に何か改善要望を出すとか、③市にとって魅力を感じるような取り組みをしている他の市区町村の事例を参考事例情報として何度も直接市長に送り付けるとか、少し過激な起爆剤を使わないと市は中々変わらないのではと思います。

色々な部会や行事がありますが実際どの様な活動がどのくらいなされているかじっくり検討する必要がある時期に 来ているのでは?名前ばかりの部会、あるいは無理をして行われる行事等々があるのではと思われます。コロナ禍 の折、本当の国際協会の存在意味を考える良い機会です。

活動の紹介について、若年層は、市報は見ない。メールや SNS を活用。国分寺にある学校の学生への協力、ロコミなどを最大限に生かす。その他、様々な年代に届くには、KIA からの

○月のお知らせなど、各公民館に毎月チラシを張って貰う、国分寺駅、西国分寺駅、国立駅、恋ヶ窪駅付近に、無料でチラシを張って貰える、置いて貰える所を新たに探す。

チラシなどの欠品、チラシがはがれている、期間が過ぎた、などは、各担当会員をゆるく任命して、お願いする。

また、よくわかっていないので、これから勉強します

市内の大学(東経大)や中高に国際交流クラブのようなグループがあれば、何か一緒にやっても良いかも知れません。状況を十分わからないまま書いていますので、的外れな点がありましたらご容赦ください。

もっと国分寺市の外国人との交流を行うといい。

協会の活動については熟知し、敬意をもっています。ますます必要な存在だと応援しています。

先にも書きましたが、"会員に定期的に部会の活動状況を知らせる"。

会員でない人の中には、英語の能力の高い人がたくさん存在すると思います。そういう方をできるだけ多く協会の活動に参画していただくことが協会の活動を活性化させるための近道だと思います。そのためにはどうしたらいいのか一具体的になると非常に難しいですね。みんなで free discussion して知恵を出し合うしかありませんね。

こうした全般アンケートに加え、各活動毎にアンケートを実施してはどうでしょうか。

市報等を通じて市民の共感を多く得るため広報活動にもっと力を入れたらいいと思う...

会う場を増やす

土日に語学教室や講座があると参加しやすいのでは

いつも皆様におんぶで抱っこで申しわけありません。

外国人会員がもっと増えて、意見を聞きながら必要な活動ができたらいいと思う。

市と協力して、市内に住む外国人にもっと協会の存在を知ってもらう

新しく市に転入してきた人達に対してゴミ出しの方法とかを教える会を行う(オンラインでも)

近隣の市の国際協会と交流してアイデア出し

入会した時、部会に所属し打合せに出てみましたが、古参の会員の方の考えややり方に他の皆さんが従う、という感じで話がしにくかったです。その後、平日に仕事を始めたため、打合せに出られなくなることもあり、部会を退会しました。長く活動をしてくださっている皆さんにはとても感謝していますが、その下の世代が入りづらいとことも事実ではあると思います。

現在働いているので土日しか参加できません。部会のミーティングとか日本語教室なども平日の昼と夜なので、できれば土日にも働いている会員が手伝いとして参加できるようなものがあるといいと思います。

1団体での活動が難しければ、他団体とのコラボレーションなど、横のつながりを強化していくのも会を活性化する上で大事かもしれません!

協会の存在そのものがまだあまり知られていないのではないでしょうか。

もう少し駅近の場所を活動拠点して欲しい。Cocobunjiなどの活用。

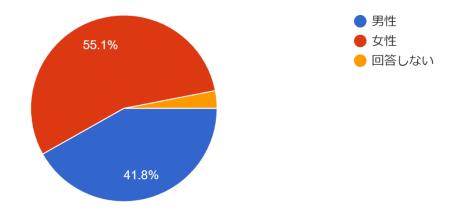
仕事を引退して未だ日の浅い人を極力見つけ出して入会を勧誘する(自分の経験から)

いつも丁寧なご対応ありがとうございます。もっと協会の活動に直接足を運べればと思いますが不調でできておりません。やはり一旦退会とさせていただいてもよろしいでしょうか。お手続きすすめていただけましたら幸いです。宜しくお願い致します。

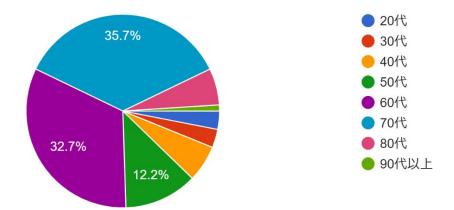
8. あなたの属性を教えてください。

性別

98 件の回答



年代 98 件の回答



会員継続年数 98件の回答

